

墨田区役所 様

プリンター、端末のリプレースを契機にセキュリティ強化とコスト削減を目指す
認証印刷の取り組みでミスプリントの削減と放置プリントの解消につながる

IDカードシステム SmartSESAME®
SecurePrint!

導入事例

認証印刷ソリューション SecurePrint! と カラーレーザープリンターとの組み合わせにより セキュリティ確保と出力環境の改善を実現



隅田川の桜や花火大会、両国国技館の大相撲など伝統文化や下町情緒がいたるところで感じられる東京都墨田区では、東京スカイツリーが新名所となり多くの人が訪れ活気を生んでいます。その区政を担う墨田区役所様では、庁内と出先機関において利用中の端末のリプレースを機にセキュリティの確保と出力環境の改善、コスト削減を目的にシーイーシーの認証印刷ソリューション SecurePrint! と NEC の Color MultiWriter 9600C、Color MultiWriter 5900C を導入されました。認証印刷ソリューションと機器の検討導入を担当した墨田区役所 情報システム担当の小平様と小野寺様（平成27年4月から税務課）に、導入の背景や選定の決め手、導入後の成果や今後の展望などについてお聞きしました。

導入ポイント 導入効果

1 セキュリティの確保

放置プリントをなくし
情報漏えい対策を強化

2 紙・印刷コストの削減

プリンターの最適配置と
ミスプリントの削減で実現

3 ペーパーレス化

情報システムと
出力環境の改善により推進

導入の背景と狙い

端末機器のリプレースをきっかけに
セキュリティ向上とコスト削減をめざす

墨田区には中小企業や町工場が多いため墨田区役所では、技術の街としての産業振興や東京スカイツリーを代表とする街歩きなど観光の促進に努めています。情報システム担当は、全庁のイントラネット、情報基盤のサーバーやプリンター、ネットワークの運用や管理を主な業務としています。現在の課員は13名、若手からベテランまでバランスのよい年齢構成で、技術革新の目まぐるしいIT環境のなかで様々なプロジェクトに意欲的に取り組んでいます。

「庁内と出先の出張所や保育園などに合わせて約1,800の端末、約100台のプリンターなどがありますが、そのリース期限の満了に伴う入れ替えを機に、従来の出力環境に

あった2つの課題解消を目指しました。

一つは、電話の応対や多忙な業務のなかで発生しがちな出力物の取り忘れによる情報漏えいリスクでした。もう一つの課題はプリンターのランニングコストでした。プリンターの適正配置による出力環境の改善や認証印刷ソリューションの活用を通じたミスプリントの軽減などにより解決を目指しました」と導入の背景を語る小野寺氏。

「聖域なきペーパーレス化」を
スローガンとして

「情報システム担当では業務改善と情報化促進の好機と捉え、「聖域なきペーパーレス化」という合言葉を掲げ、スローガンのもとでセキュリティの確保とコスト削減に取り組んできました」と語る小平氏。導入プロジェクトは平成25年にスタート。情報収集や方向性の検討などを経て26年2月にプロポーザルを実施。各社からの提案を受け、技術・価格の視点から検討してきました。



墨田区役所 情報システム担当
小平 幸生 様



墨田区役所 税務課
小野寺 弘晃 様

墨田区役所 様

プリンター、端末のリプレースを契機にセキュリティ強化とコスト削減を目指す
認証印刷の取り組みでミスプリントの削減と放置プリントの解消につながる

IDカードシステム SmartSESAME®
SecurePrint!

導入事例

導入の決め手と導入効果

A4プリンターでも認証印刷に対応 “業務を止めない”運用も決め手に

「各社からの提案の中には、プリンター自体が認証でき、サーバーが不要なシステムもありましたが、認証印刷ができるのがA3タイプだけでした。実際の業務を考えた時には、保育園など設置スペースが限られた場所では、A4サイズのプリンターが不可欠でした。そのため、シーイーシーの認証システムは、機種を問わずA4プリンターにも対応できることが強みになりました。加えて、万が一、サーバー自体が止まっても印刷ができるなど、業務の継続性という観点でも優れていると判断しました」(小野寺氏)

「プリンターの機能要件として求めていたのが認証印刷でした。それを踏まえ、さらに価格や保守を含む総合的な判断によって、採

用しました」(小平氏)

求める“セキュリティの確保とコスト削減の両立”という要求を満たすベストな組み合わせとしてシーイーシーの認証システムとNECのプリンターを選択。最終的にA3対応のColor MultiWriter 9600Cを庁舎内に56台、A4対応のColor MultiWriter 5900Cを保育園や小規模の出先機関に44台導入。出力機の適正配置も可能とし、さらに業務効率向上に貢献する出力環境の改善も実現しました。

ミスプリントをなくしてコスト削減 放置プリント解消でセキュリティ向上

認証印刷は職員カードをかざして行いますが、現状はColor MultiWriter 9600Cのみで行い、Color MultiWriter 5900Cでは認証印刷システムのなかでログを取得しています。また、認証印刷の効果として、ミスプリントの削減と放置プリントがなくなりセキュリティの向上が果たされました。



【写真】墨田区では業務に応じて認証端末を柔軟に使い分けています。

「平成27年4月の印刷枚数が約43万枚でした。ユーザーキャンセルが1万9千枚。時間によるキャンセルが1万1千枚、割合としては低いかもしれませんが、そのキャンセル部分が無駄の削減につながり、コスト削減に貢献している結果を示しています」(小平氏)

利用者からは、「印刷の度にプリンターまで取りにいていたが、印刷命令を貯めてまとめて印刷できるため離席が少なくなり、業務に集中できるようになった」「印刷キャンセルがプリンターでもできるため、わざわざ席に戻らなくてもすみ、助かっている」といった声などがあがっています。

今後の活用と展望

認証機能のさらなる活用と情報化促進 で区民サービスと行政運営を向上

「認証装置の設定もサーバーから一括してできるため、管理者の負担も軽減されています。今後は、認証印刷の機能をさらに活用していきながら、コスト削減やセキュリティの

さらなる向上も目指したいと考えています。また、行政運営の効率化と、住民サービスの向上の実現により地域力の強化につなげることを目標とし、そのために情報システム化の推進、データのオープン化やセキュリティの強靱化などにも取り組んでいきたいと考えています」と展望を語る小平氏。

平成28年11月には東京スカイツリーに加

え、新たな名所として墨田区で生まれた世界的に著名な葛飾北斎の美術館が竣工される予定です。墨田区役所では職員のPCの壁紙に北斎の絵を表示したり、住民票の裏にも印刷するなどして職員全体で盛り上げを図るなど、伝統と革新を融合させながら地域の活性化を図り、未来に向けて歩み続けています。

お客様プロフィール

墨田区役所 様

昭和 22 年 3 月 15 日に北部区域の向島区と南部区域の本所区が一つになって誕生した墨田区。その名は、江戸市民や文人墨客の遊覧の地として親しまれてきた隅田川堤の通称“墨堤”の呼び名の「墨」からと、“隅田川”の名の「田」からの2字が由来となっています。現在では「ものづくりのまち」「人が輝くまち」として、江戸切子や江戸木箸などの伝統を支える「すみだマイスター」、東京スカイツリーをはじめ、両国など歴史・文化が現在に伝わる地域、京島や向島といった昔からの路地や街並みが残され、全国の人々に親しまれています。

所在地 〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号
職員数 1,908人(平成27年4月1日現在)
人口 261,993人(平成28年2月1日現在)
面積 13.77 km²
URL <https://www.city.sumida.lg.jp/>



【写真】自立式鉄塔として世界一の高さ(634m)を誇る「東京スカイツリー」と墨田区庁舎

お問い合わせ

CEC 株式会社シーイーシー
Computer Engineering & Consulting

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル8F
TEL:03-5789-2442 FAX:03-5789-2585
E-mail: marketing@cec-ltd.co.jp

SecurePrint! <http://sesame.cec-ltd.co.jp/>
スマートセサミ クリック!

販売代理店

※当カタログ内に記載されている会社名、製品名等は一般に各社の登録商標または商標です。なお本文中では、TM、Rマークは明記しておりません。
※上記事例に記載された社名・部署名等の情報は取材当時のもので、閲覧時点には変更されている可能性があることをご了承下さい。

201603-003-006PN